

平成30年度 業務棚卸評価シート

| | | | |
|----------|--------------|--------|----------|
| No. | 7 | 担当部課名称 | 財務部用地管財課 |
| 事務事業名 | 庁舎維持管理業務 | | |
| 見直しのタイトル | 庁舎総合管理委託について | | |
| 添付資料 有無 | 無 | | |

1 現状における課題

- ・現在、本庁舎、分庁舎の委託は委託業者と契約を一括で行い、従来の複数本の委託を1本にまとめたものである。平成31年度の委託契約に向けた課題として、仕様書にない業務の振り分けが存在する。
たとえば、修繕など保守点検から発生する修繕は、委託業者が修理業者を派遣し市が支払うが、通常の緊急的な修繕は、市が発注するなど、その時々で対応が異なることがある。
平成28年度の契約が初めての総合管理委託契約だったことから、実際の委託に際しての課題が出てきている。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

- ・平成31年の市庁舎総合管理委託に向けて、仕様書の検討を行うなど見直しを行う必要がある。
- ・現在の委託業者へのヒアリングを行い、管理委託を行っていくことでの課題点などの洗い出しを行う。
- ・契約方法については、総合評価方式を含めた様々な方法を検討していく。

3 改善により期待できる効果

- ・現在の課題等を盛り込んだ仕様書で平成31年度契約を行うことで、より品質の高い保守管理委託を行うことが出来る。
- ・業務を精査していく中で仕様書で委託で行えるものは委託に盛り込むことで明確に行うことが決まり、職員の負担も減らすことが出来る。

4 実施スケジュール（概要）

| | |
|---------|-----------------|
| 6月から8月 | 仕様書の見直し、業者ヒアリング |
| 10月～11月 | 次年度予算への反映 |
| 12月～1月 | 仕様書作成 |
| 2月 | 入札準備 |
| 4月 | 委託の開始 |

5 実施結果の振り返り

今までの管理業務の経験を踏まえ、業者の選定方法も制限付き一般競争入札とした。

具体的には、①本店・支店。受任地が茅ヶ崎市、平塚市、寒川町にある者

②「かながわ電子入札共同システム」の営業種目に指定した種目のいずれにも登録をしている者

③「一般社団法人神奈川県ビルメンテナンス協会の会員」とすること。

これらは、適正な維持管理のために質を確保し、変化への対応、地元企業の育成などを考えて公正に行った制限付き一般競争入札であると考えている。また、金額的にも安価ということだけでなく、高い質を持った業者が適正な価格で落札し委託をすることができた。

委託内容として、新たに植栽管理を追加するなど、従来の仕様だけでは不十分な箇所を仕様書に盛り込み、細部の仕様を見直せたことで、今よりもさらに管理のクオリティを高めることができた。今後も常に迅速に対応ができる安心安全な運営が出来るものと考えている。